

# 秋田駒ヶ岳山スキー

記 T村M

2021/12/28(水) 曇りときどき雪  
メンバー: T村M T村E Y科 T山

今年の雪は 12 月後半になって、日本海側で大雪となり、東北も雪はあるだろうと期待していたが、秋田県は日本海側は多いが、内陸は少ないとのこと、年末年始の東北山スキーの先発組で、雪の量の偵察を兼ね、秋田駒へ行ってきた。

前夜は結構な雪で20cmぐらい積もっていたので、期待してアルパ駒草駐車場に車を止め、旧ゲレンデを登って行ったが、駐車場には車が一台、ルート上にはその一台の車の方のものと思われるトレースがついていた。申し訳ないがそのトレースを使わせてもらう。



駐車場から旧ゲレンデの緩い斜面を登るがこれが長かった。

緩い斜面が飽きてきた頃に前方から2名、先行していた登山者が降りてきた。もう山頂往復か？と聞いてみると、道路に出てもノートレースで大変で頂上まで行けそうにないので諦めて下山してきたとのことだった。ここまでトレースを使わせてもらったお礼を言い、まだまだ先は長い、天気もまあまあだし、頑張れば何とか行けるだろう(山頂まで)と高をくくって先へ進む。

車道に出て50mほどでトレースが無くなり、ラッセルになる。このラッセルが思っていたより大変で、ここ数日で降った雪がまだ全然締まってなく、板が結構潜り、吹き溜まりでは腰ぐらいまでの溝ができたり、風で風紋になっているところでは、ミニ雪庇のようになっているところを崩しながら進まなければならず、時間と体力をかなり消耗してしまった。カーブミラーを頼りに道路を進み、途中ショートカットも考えたが、道路以外はブッシュが出ていて、雪も踏まれてなさそう。仕方なく、くねくねと曲がった道路を進んだ。そして、八合目の小屋に到着するころには、時折見えていた青空も消え、雪と風が舞い、視界が10mくらいになっていた。頂上は無理と判断し、ここから下山とした。



八合目の小屋の風の当たらない面を探し、急いでシールを剥がす。そして、早々に滑降モードにして登って来たトレースに沿って下るが、風でトレースが消えてしまっていた。その上、視界も悪いので、しばらくはGPSを頼りに少しずつ進む。100m程下ったところから、登って来たトレースが明瞭になり、トレースに沿って滑ったが、緩い傾斜の深雪のため、トレースを外すと板が滑らず止まってしまう。

旧スキー場のゲレンデトップからは、緩やかではあるが、広い斜面となり、この日唯一のスキーらしいすべりができた。雪もそれほど重くないので、快適に滑っていたが、突然T山さんが悲鳴と共に、溝にはまってしまった。Y科さんが駆けつけたが中々脱出できない。結局、二人がかりで、大穴を掘り休出。もうすぐ下山というところでとんだハプニングだった。

その後、5分程でアルパこまくさ駐車場に到着。田沢湖駅近くのスーパーに立ち寄り夕食の食材を購入し宿に戻った。



コースタイム : 8:44 アルパこまくさ駐車場～8:52 旧ゲレンデ～10:06 1040m林道合流～12:22 八合目小屋12:47～14:08 1040m林道合流～14:53 アルパこまくさ駐車場

以上